



2018

UFCアンチ・ドーピングプログラム  
ウォレットカード

禁止物質および  
方法ならびに許  
可物質および方  
法の例

2018年1月1日から12月31日  
まで有効



米国アンチ・ドーピング機関

## 物質のカテゴリー常に禁止 (競技会時および競技会外)

❖ **無承認物質:** ヒト治療用に政府の保健規制当局によって承認されていない薬品。

❖ **タンパク質同化薬:** 7-ケト-DHEA、アンドロステンジオール、アンドロステンジオン、アンドロステロン、ボランジオール、ボラステロン、ボルデノン、クレンブテロール、ダナゾール、デスオキシメチルテストステロン(Madol(マドール))、デヒドロクロロメチルテストステロン(DHCMT)、プラステロン(デヒドロエピアンドロステロン、DHEA)およびその代謝物、ドロスタノロン、エピテストステロン、メタステロン、メチル-1-テストステロン、メチルテストステロン(エストラテスト、Covaryx(コバリックス))、ナンドロロン、ノルボレトン、オキサンドロロン、プロスタノゾール、選択的アンドロゲン受容体調節薬(SARM、オスタリン(エノボサルム、MK-2866)、アンダリン(GTx-007、S-4))、スタノロゾール、テストステロンまたはその代謝物または異性体、テトラヒドロゲストリノン(THG)、チボロン、トレンボロン、ゼラノール、ジルパテロール、および類似の物質

❖ **ベータ2作用薬:** すべてのベータ2作用薬は、すべての光学異性体を含めて禁止されます。これには、経口、静脈内、および吸入による投与が含まれます。ほとんどの吸入ベータ2作用薬は禁止されています。これには、フェノテロール、ヒゲナミン(イノツズラフジ)、インダカテロール(Arcapta(アーカプタ))、メタプロテレノール(アルーパーペント)、オルシプレナリン、オロダテロール(Striverdi(ストリバーディ))、ピルブテロール(Maxair(マックスエアー))、テルブタリン

(Brethaire(ブレスエアー))、ビランテロール(ブレオ)禁止されていない方法を有する吸入アルブテロール、ホルモテロール、サルメテロールに関する情報については、裏面をご覧ください。

❖ **利尿薬および隠ぺい薬** (裏面の利尿薬警告参照): アセタゾラミド、アルブミン、アミロリド、ブメタニド、カンレノン、クロルタリドン、クロロチアジド、デスマプレシン(DDAVP)、デキストラン、エプレレノン、フロセミド、ヒドロクロロチアジド/チアジド、ヒドロキシエチルデンプン、インダパミド、マンニトール、メトラゾン、プロベネシド、スピロラクトン、トルバプタン、コニバプタン、および血漿増量物質または利尿薬; 例外: ドロスピレノン、歯科麻酔におけるフェリプレシンの局所投与、パマブロム、局所ドルゾラミド、および局所布林ゾラミドは禁止されていません。

❖ **ホルモン調節薬および代謝調節薬:** アロマターゼ阻害薬: アミノグルテチミド(Cytadren(シタドレン))、アナストロゾール(Arimidex(アリミデックス))、アンドロステントリオン (6-oxo)、アリミスタン、ビカルタミド(Casodex(カソデックス))、エキセメスタン(アロマシン)、ホルメスタン、レトロゾール(フェマール)、テストラクトン; 選択的エストロゲン受容体調節薬 (SERMS) および抗エストロゲン: クロミフェン、シクロフェニル、フルベストラント、オスペミフェン、ラロキシフェン、タモキシフェン、トレミフェン; ミオスタチン機能を修飾する作用薬; 代謝調節薬: AMP-活性プロテインキナーゼの活性化薬 (AICAR)、および PPAR $\delta$  作働薬 (GW 1516); インスリンおよびインスリン模倣物質; メルドニウム(ミルドロネート); トリメタジン

❖ **ペプチドホルモン、成長因子、関連物質および模倣物質** およびすべての放出因子: コルチコソルトピン(コートロシン、Acthar HP(アクサーHP))、成長ホルモンおよびその放出因子および類似体 (hGH、GHRH、GH-放出受容体、成長ホルモン分泌促進物質、GHS)

**男性に対してのみ禁止:** 絨毛性ゴナドトロピン (CG、hCG、オビドレル) および黄体形成ホルモン (LH)、ブセレリン、ゴナドレリン、リュープロレリン

**エリスロポエチン受容体作働薬:** エリスロポエチン (EPO、エポジェン、プロクリット)、EPO-Fc、ダルベポエチン(dEPO、アラネスプ)、GATA阻害薬、ルスパテルセプト、メトキシポリエチレングリコールエポエチンベータ (CERA)、ペギネサチド(オモンティス)、ソタテルセプト ;

**低酸素誘導因子 (HIF) 安定薬および活性化因子:** aアルゴン、コバルト、FG-4592、FG2216、キセノン

**成長因子:** 線維芽細胞成長因子 (FGF)、肝細胞成長因子(HGF)、インスリン様成長因子(IGF-1)、機械的成長因子(MGF)、血小板由来成長因子、血管内皮増殖因子、および筋、腱または靭帯でのタンパク合成/分解、血管新生、エネルギー利用、再生能または筋線維組成の変換に影響を与えるその他の成長因子 例外: 血小板由来血漿製剤(例:PRP) は禁止されていません。<sup>\*†</sup>

## 方法 I常に禁止 (競技会時および競技会外)

❖ **血液および血液成分の操作:** a) 血液ドーピング: 自己血、他者血、または異種血、またはいかなる種類の赤血球を投与または再び戻すこと。血液または血液成分を物理的または化学的手段を用いて血管内操作すること。b) 酸素運搬: 酸素摂取や酸素運搬、酸素供給を人為的に促進すること。過フルオロ化合物、エプアプロキシラール (RSR13)、静脈内酸素、および修飾ヘモグロビン製剤 (ヘモグロビンを基にした血液代替え物質、ヘモグロビンのマイクロカプセル製剤等) などが含まれる。例外: 補給酸素の吸入は許可されます。

### ❖ 化学的および物理的操作:

– 検体の完全性または有効性を変化させるための改ざん、または改ざんの試み: 尿のすり替えおよび/または尿の改質 (例: 検体にタンパク質分解酵素を加える)。

– 12時間あたりで100mLを超える静脈内注入または静脈注射 (禁止物質ではなくても?) 禁止されています。ただし、病院での治療、外科手術、または? 臨床的診断検査において正当に受けるものは除外します。

❖ **遺伝子ドーピング:** t核酸のポリマーまたは核酸類似物質の移入および/または正常または遺伝子修飾細胞の使用。

## 物質のカテゴリー 禁止 競技会時のみ\*†

◆ **興奮剤:** エピネフリン\* (アドネラリンまたはエピペンの使用は、治療後、緊急TUEの提出が求められる)、アドラフィニル、アンフェタミン、デキストロアンフェタミン(アデロール)、アルモダフィニル(ヌビジル)、ベンズフェタミン、カチノンおよび類似体、コカイン、デクスメチルフェニデート(フォカリン)、デキストロアンフェタミン(デキセドリン)、1,3-ジメチルブチルアミン (DMBA、AMPクエン酸塩、4-アミノ-2-メチルペンタン)、エフェドラ(MaHuang(マ・ヒュング))、エフェドリン\*、ヒゲナミン(ノルコクラウリン)、イソメタプテン、リスデキサメフェタミン(ビバンセ)、メタンフェタミン(Dexosyn(デクソシン))、メチルヘキサミン(4-メチルヘキサミン-2-アミン、DMAA、ジェラナミン、その他の名称)、メチルシネフリン(オキシロフリン)、メチルフェニデート(コンサータ、Daytrana(デイトラーナ)、メタデート、メチリン、リタリン)、モダフィニル、オクトパミン“ダイダイ、”ペモリン、フェネチラミンおよびその誘導体、フェンテルミン(Bontril(ボントリル)、Adipex(アジペックス)、プソイドエフェドリン\*、Quillivant XR(クイリバントXR)、セレギリン(エルデプリル)、および関連物質裏面の利尿薬/閾値警告をご覧ください。

\* 閾値物質-興奮薬およびモニタリングプログラムについての詳細は以下をご参照ください [UFC.USADA.org/prohibited-list](https://www.ufc.usada.org/prohibited-list)



❖ **麻薬:** ブプレノルフィン、デキストロモラミド、ジアモルフィン(ヘロイン)、フェンタニルおよび誘導体、ヒドロモルフォン、メペリジン(ペチジン)、メタドン、モルヒネ、ニコモルヒネ、アヘン、オキシコドン、オキシモルホン、ペンタゾシン。

❖ **カンナビノイド:** 天然カンナビノイド(例:大麻、ハシシュ、マリファナ);合成カンナビノイド(例:合成デルタ-9-THC(ドロナビノール));カンナビノイド類(例:“スパイス”、JWH018、JWH073、HU-210)。カルボキシ-THC の尿中閾値は150 ng/mL。大麻およびCBD製品は、検出可能THCを含む可能性があります。これらの製品の使用は、個人の責任で行ってください。†

❖ **糖質コルチコイド:** コルチゾン、デキサメタゾン、メチルプレドニゾロン、プレドニゾン; 筋肉内使用、静脈内使用、経口使用、経直腸/座薬による使用は禁止されています。局所使用、関節への直接関節内注射(コルチゾン注射など)、局所硬膜外注射、吸入などは禁止されていません(裏面参照)。†

**警告:** USADAは、薬品が尿および/または血液から抜けるのにかかる時間を予測することはできません。競技までに競技会時禁止の薬品が体内から抜けるかどうか確信が持てないときは、競技前にTUEを申請することをお奨めします。

## 正しい選択の代弁者となってください。

スポーツにおける運動能力向上薬の乱用を報告し、公明正大な競技者を保護し、公明正大な競技を促進するための役割を果たしましょう。

◆ [playclean@USADA.org](mailto:playclean@USADA.org)

◆ 1-877-Play-Clean (1-877-752-9253)

◆ [UFC.USADA.org/playclean](https://UFC.USADA.org/playclean)

\* L'USADUSADAは、UFCグローバルDROウェブサイト、世界アンチ・ドーピング機関(WADA)禁止表、特定の成分または薬品の許可または禁止に関する状況のみを提供します。USADAは、栄養補助食品については、禁止または許可の状況に関するコメントを行いません。

† ご使用の薬品については、関連競技委員会が、WADAが許可する物質および方法を禁止する、またその逆の場合もありますので、そちらにもご確認ください。

競技者は、USADAからの有効な治療使用特例(TUE)が発行され、TUEが関連競技委員会によって公式に承認されるか、または発行されない限り、禁止物質または方法を使用することは許可されません。



## 許可される薬品の例

ブランド名のみが記載されている場合には、後発医薬品も許可されます。競技委員会は、UFCアンチ・ドーピングプログラムとは異なる物質を許可または禁止する可能性があることにご注意ください。\*†

◆ **麻酔薬:** ノボカイン、セプトカイン、キシロカイン(リドカイン) エピネフリン(アドレナリン)を含む局所麻酔薬の局所的投与(皮内、経鼻、点眼)は許可されます。

◆ **制酸剤:** アシフェックス、アキシッド、Carafate(カラフェート)、ガビスコン、カピデックス、ミランタ、マーロックス、ネキシウム、ペプシド、プレバシド、プリロセック、プロトニクス、タガメット、タムズ、ザンタック。

◆ **抗不安薬:** アAルプラゾラム(ザナックス)、アタラックス、アチバン、バスパー、リブリウム、バリウム、ビスタリル。

◆ **抗生物質:** カルバペネム、セファロスポリン、フルオロキノロン、エリスロマイシン、メトロニダゾール、ペニシリン系抗生物質、リファンピン、サルファ剤、バンコマイシン。

◆ **抗うつ剤/精神安定剤:** エビリファイ、セレクサ、シンバルタ、エラビル、エフェクサー、レクサプロ、リチウム、パキシル、プリステイク、プロザック、リスパダール、セロクエル、ウェルブトリン、ビタミンB-12、ゾロフト、Aジプレキサ。

◆ **糖尿病治療薬:** グリメピリド(アマリル)、グリピジド(グルコトロール)、グリブリド、メトホルミン(グルコファージ)、リナグリプチン、ピオグリタゾン(アクトス)。

❖ **下痢止め:** ジフェノキシレート /アトロピン (ロモチル、ロノックス)、(イモジウム AD (ロペラミド)、カオリン/ペクチン、カオペクテイト、ペプトビスモール。

❖ **抗真菌薬:** クロトリマゾール (ロトリミン)、Cruex(クリュ)、デセネックス、ジフルカン、Aケリディン、ケトコナゾール、ジュビリア、ラミシル(テルビナフィン)、ミカチン、モニスタット、マイコスタチン、ティナクチン(トルナフテート)。

❖ **制吐/抗めまい薬:** コンパジン、ジフェンヒドรามミン、ドラマミン、エメトロール、メクリジン (アンティバート、ボニン)、フェネルガン、スコポラミン、ゾフラン。

❖ **抗ウイルス:** アシクロビル、エプクルサ、ファンビル、リレンザ、スタブジン、タミフル、ツルバダ、バルトレックス、ゼパティア。

❖ **喘息:** クロモリンナトリウム (インタール)、イプラトロピウム、モンテルカスト(シングレア)、ネドクロミル、テオフィリン、チオトロピウム(スピリーバ)、ゾレア。

**特定のベータ2作用薬(吸入のみ):** Advair(アドベア)、コンビベント、Foradil(フォラジール)、Perforomist(パーフォロミスト)、プロエア、プロベンテイル、ベントリン、Dulera(デュレラ)、セレベント、シムビコート、ゾペネックス; 吸入サルブタモール (アルブテロール: 24時間で最大1600 $\mu$ g、12時間で、800 $\mu$ gを超えないこと 吸入ホルモテロール: 24時間で、最大投与量は54 $\mu$ g 吸入サルメテロール: 24時間につき最大200  $\mu$ g 尿中のサルブタモールが1000ng/mLまたはホルモテロールが40ng/mLを超える場合、治療を意図した使用とはみなされず、違反が疑われる分析報告(AAF)として扱われます。ただし、競

技者が管理された薬物動態研究を通して、その異常結果は、上記の最大投与量以下の治療のための投与(吸入による)の結果であったことを証明した場合はこの限りではありません。利尿薬/閾値警告をご参照ください。

◆ **注意欠陥 (多動性) 障害 (ADD または ADHD):** グアンファシン (インチュニブ)、アトモキセチン (ストラテラ)。

◆ **コレステロール:** スタチン、レパサ、トライコア、ゼチーア

◆ **風邪 / アレルギー / 咳:** 風邪薬やインフルエンザの薬は多数あり、その構成物は頻繁に変わります。薬を飲む前には、それらの各有効成分を調べることが重要です。次の製品および成分は許可されています。ベンゾカインのトローチ、デキストロメトルファン、フロネーズ、グアイフェネシン、ロラタジン、ナファゾリン、オキシメタゾリン、フェニレフリン、プロメタジン、テトラヒドロゾリン、タシオネックス 注意: プソイドエフェドリン (眠気を誘発しない、またはDタイプ製剤) については、裏面をご覧ください。

◆ **避妊薬:** プロゲスチン (デソゲストレル、ジエノゲスト、ドロスピレノン、エチノジオールジアセテート、エトノゲストレル、レボノゲストレル、メドロキシプロゲステロン、ノルエチンドロン、ノルゲストレル、ノルゲスチメート) 単体またはエストロゲンとの組み合わせ (エチニルエストラジオール、吉草酸エストラジオール)、黄体ホルモンIUD。

◆ **耳用製剤:** Auralgan (オーラルガン)、Auro-Dri (オーロドライ)、セルメネックス、シプロデックス、デブロックス、Murine (ミュリーン)、OticDomeboro (オティックドメボロ)、および他のすべての抗生物質。

❖ **眼用製剤:** Alrex(アルレックス)、人工涙液、Murine Plus(ミュリーン・プラス)、ナファゾリン目薬、Naphcon-A(ナフコンA)、ネオシネフリン、パタノール、Pred-Forte(プレドフォルテ)、オキシメタゾリン、Relief(リリーフ)、テトラヒドロゾリン、Vasocon-A(バソコンA)、バイシン、およびすべての眼科抗生物質。

❖ **心臓の薬:** アピキサバン アスピリン、アトロバスタチン、アバプロ、クロニジン、クロピドグレル、ジルチアゼム、エリキュース リシノプリル、ノルバスク、ワルファリン、イグザレルト。

❖ **痔の薬:** タックス(かゆみ止め)、プリパレーション H 外用糖質コルチコイド(注意: 直腸に挿入したクリーム/座薬糖質コルチコイドは競技会時には禁止)。

❖ **ホルモン補充療法:** エストロゲンまたはプロゲステロン、単体または組み合わせて 注意: アンドロゲンを含むホルモン補充療法は禁止されています(例: テストステロン)。

❖ **緩下剤/便軟化剤:** コレース、Correctol(コレクトール)、ダルコラックス、エックス・ラックス、ファイバーコン、フリートエネマ、メタムシル、ミラ・ラックス、センノシド、セノコット、セノコット-。

❖ **外用薬:** アスパークリーム、ベンゲイ、カプサイシン、Flex-All(フレックスオール)、アイシーホット・バーム、Myoflex (ミオフレックス) クリーム、スポーツクリーム、ヴィックス・ヴェポラップ、ゾストリックス、ゾビラックス、外用ステロイド薬。

❖ **筋弛緩薬:** バクロフェン、シクロベンザプリン、ノルフレックス、スケラキシン、Soma(ソーマ)、ザナフレックス。

❖ **痛み/抗炎症剤:** アセトアミノフェン(タイレノール) アスピリン、セレコキシブ(セレブレックス)、コデイン(T#3、T#4)、ジクロフェナク(ボルタレン)、ガバペンチン、ヒドロコドン(ノルコ、バイコデン)、イブプロフェン(アドビル)、ケトロラク(トラドール)、メロキシカム(モービック)、ナプロキセン(アリーブ)、プレガバリン(リリカ)、タペンタドール(Nucynta(ニューシンタ))、トラマドール(Ultram(アルトラム)、Ultracet(ウルトラセット))、ピロキシカム(フェルデン)。

❖ **鎮静/睡眠剤:** Ambien(アンビエン)、Ambien CR(アンビエンCR)、アチバン、Bダルメーン、ジフェンヒドラミン(Compoz(コンポーズ)、Somnex(ソミネックス)、B zzzQuil(zzzクイル))、ルネスタ、Nytol(ニトール)、Restoril(レストリル)、ロゼレム、ソナタ、トラゾドン、ユニソム。

❖ **ワクチン:** ワクチン: 水ぼうそう、ジフテリア、H1N1、肝炎、HPV(ガーダシル)、インフルエンザ(Fluzone(フルーゾーン))、MMR、髄膜炎菌性、百日咳、肺炎球菌(ニューモバックス)、ポリオ、狂犬病、ロタウィルス、結核、破傷風、腸チフス、D-Tap(破傷風、百日咳、ジフテ?リア)、黄熱病。

❖ **膣用製剤:** AVC、Femstat(フェムスタット)、Gyne-Lotrimin(ガイネロトリミン)、MetroGel(メトロゲル)、モニスタット、Mycelex(ミセレックス)、マイコスタチン、Terazol(テラゾール)、Vagistat(バジスタット)。

## 治療上の使用特例

アンチ・ドーピング方針違反を避けるためには、スポーツで禁止されている物質または方法を用いる前

に、承認済み治療使用特例(TUE)が必要です。  
TUE申請手続きに関する詳細については、UFC TUE方針を参照するか、UFC.  
[UFC.USADA.org/tue](http://UFC.USADA.org/tue).をご覧ください。

**利尿薬 / 閾値 警告:** 閾値水準が設定されている物質(例: ホルモテロール、サルブタモール、カチン、エフェドリン、メチルエフェドリン、プセドエフェドリン)を利尿薬または隠ぺい薬と共に使用する場合には、閾値の対象となる物質および利尿薬または隠ぺい薬に対する治療使用特例が必要です。「閾値の対象となる物質」の閾値内での使用、および/または処方のもとでの使用でもこれは適用されます。

## 栄養補助食品

多くの栄養補助食品(ビタミン、ミネラル、アミノ酸、ホメオパシー、ハーブ、エネルギードリンク)は成分表示ラベルに記載されていない、またはWADA禁止表に含まれるその他の物質を含む可能性があります。栄養補助食品を摂取する競技者は、アンチ・ドーピング方針違反および/または健康への有害な影響のリスクがあります。

競技者のサプリメント使用によるリスクに関する情報については、[Supplement411.org](http://Supplement411.org).をご覧ください。

過去数年における分析試験によって、栄養補助食品として販売されている製品中には、多くの同化剤、興奮剤、利尿薬、処方薬、その他の禁止成分が存在することが明らかにされました。以下のような例が挙げられます: 1 アンドロステンジオール、アンドロステンジオン、アンドロステロン、ボランジオール、1 DHEA (1 アンドロステロン)、ジメチルアンフェタミン、1-3 ジメチルブチラミン (AMPシトレート、4-AMP) 7-ケト -DHEA、



ドロスタノロン、エピアンドロステロン、エピスタン、ヒゲナミン(ノルコクラウリン)、メチルヘキサミン、ベータ・メチルフェネチルアミン、N-メチルフェネチルアミン、メチルシネフリン、ナンドロロン、19-ノルアンドロステンジオン、オクトパミン“ダイダイ、” シブトラミン、スタノゾロール。

新しいサプリメントを摂取する前は、常に [Supplement411.org](http://Supplement411.org) のハイリスクリストを参照して、禁止物質を含む特定の製品を調べてください。サプリメントは、個人の責任で使用してください。

\*†裏面をご覧ください。

本カードは、WADA禁止リストの完全版☒ではありませんが、B禁止物質、ならびに許可されている物質☒の例が含まれています。このリストは、変更される場合があります。

使用している製品および方法の状況を調べる:

1. 2018年度禁止表

[UFC.USADA.org/prohibited-list](http://UFC.USADA.org/prohibited-list)

2. [UFC.GlobalDRO.com](http://UFC.GlobalDRO.com)<sup>\*†</sup>

で使用している薬品について調べる

3. [Supplement411.org](http://Supplement411.org)

で使用しているサプリメントについて調べる

4. Athlete Express (アスリートエクスプレス)  
に連絡をとる

◆ (719) 785-2000 またはダイヤルフリー  
(866) 601-2632

◆ 国際フリーダイヤル  
+8008-120-8120

◆ [UFCathleteexpress@USADA.org](mailto:UFCathleteexpress@USADA.org)



\*†裏面をご覧ください。



## 米国アンチ・ドーピング機関

**UFC.USADA.ORG**

2018年1月1日発効

© 2018 U.S. アンチ・ドーピング機関 米国アンチ・ドーピング機関の明示的な書面による許可なしに、本書に含まれる素材の複製、配布、伝達、またはその他の使用は許可されません。  
アンチ・ドーピング機関

UFCウォレットカードの正文は、[UFC.USADA.org](http://UFC.USADA.org)のUFCアンチ・ドーピングウェブサイトで公開されている英語版です。UFCウォレットカードの英語版と翻訳版との間に不一致がある場合には、英語版が有効であるものとします。

### 非公式翻訳

UFCウォレットカードの公式文は、UFCアンチ・ドーピングウェブサイト ([UFC.USADA.org](http://UFC.USADA.org)) で発表されている英語版です。UFCウォレットカードの英語版と翻訳版に不一致がある場合には、英語版が優先されるものとします。